

【NO 474】

令和2年12月

北九州港（浅野地区）客船入出港に伴う航行安全対策調査専門委員会

1 委員会報告書概要

本委員会では、北九州港浅野地区に受け入れが計画されている9千GT級客船の入出港及び係留の安全性について調査・検討し、必要な航行安全対策を取りまとめた。

入出港の安全性については、接岸速度等の基礎検討及びファストタイム操船シミュレーションによる外力影響の傾向確認を行ったうえで、ビジュアル型操船シミュレータによる検証実験を行い、安全に入出港可能な条件を検討した。

ビジュアル型操船シミュレータ実験においては、一定の外力影響を受けた状態では通航路航行時に比して着離岸時の操船の制御が難しいこと、また、他船交通流に関しては関門海峡海上交通センターや他船との連絡等により交通環境を把握することが避航操船上重要になること等の知見が得られ、航行安全対策に反映した。また、対象岸壁前面の操船水域は余裕が少なく、砂津航路に至る海域において周辺係留施設の利用船舶との競合が予想されることから、水域の利用調整の実施についても提言した。

係留の安全性については、OCIMFの計算手法を用いて係船柱強度と係留力の関係を確認し、安全に係留可能な条件を検討した。

2 調査等概要

- (1) 調査概要
- (2) 客船受入れ計画
- (3) 航行環境
- (4) 基礎検討
- (5) 入出港時の安全性の検討
- (6) 係留力検討
- (7) 航行安全対策